

若者のかでマチを盛り上げる！

新得町若者大戦略事業



写真後左から鶴沼俊介さん、鳥本純平さん
写真前左から鳥本健太さん、友定雄平さん

町観光協会が立ち上げた「新得町若者大戦略事業」。
若者自らが企画・実行する野外フェスティバルの「ガンケフェス」と動画ロケの「中国観光客誘致事業」の2つが採択されました。
若者の『やりたい』を形にできる。支えるまちづくり、若者を支援する取り組みが始まっています。



「若者の『やりたい』を応援したかった」
町産業課観光係 東田麻未さん
(道職員。昨年から町に派遣中)

「若者の『やりたい』を形にできる。支えるまちづくりを行いたい」という考えがあった」と話すのは、『若者大戦略事業』を企画・担当する町産業課観光係の東田さん。

この事業は、若者が若者らしい目線で企画し行う事業に対して経費の一部を助成し、地域課題の解決や地域の活性化創出活動などの多彩な取り組みによって生まれる「新得の魅力」に磨きをかけ、観光客に選ばれる町、また来客を増やす町を目指す。「若者たちを主体とした取り組みによって、町外からの来訪客が増加することによる経済効果」、「来訪客に新得の魅力を紹介することによる町外への情報発信」などが期待されるとしている。

東田さんは「昨年、ガンケフェスに参加させてもらい、地元が若者が主体となって企画・実行する既存の枠に捕らわれない取り組みが盛り上がりを見せていると感じた。また、『若者がやりたい』ことに対し、町がフォローし、初期段階のきっかけづくりができれば、『町の活性化には若者の声を聞いた方がよい』など町民の方からの声を参考に事業を考えたい。派遣で新得町に来る前はあまり聞けなかった住民の生の声を、新得町に来てから聞く機会が増えた。私自身も若者として、その声を少しでも町の行政に反映したかった。やりたいことはあるけど、できないからこの町にいてもつまらないと感じることがないようにしたかった」と話す。

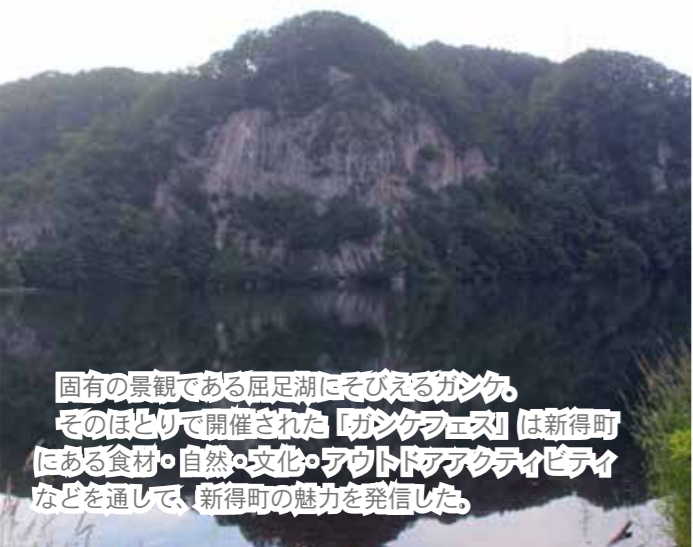
「新得町にずっと住んでいく若者の意見を反映していく。自分の必要性が目に見え、手応えを実感できる環境づくりによって、自分の町が好きになり、自分の町を誇りに思う人が増えるのではないかと。この先何十年も新得町で過ごすというのには今の若者たち。その若者たちが新得町に住み続けたい、と思えるためにはやはり、当事者である若者の意見を重視することが大切だと考えている。今回、この事業に採択された2つの事業を起爆剤として、自分もやりたいと思う人がどんどん増えて欲しい」と期待する。

ガンケフェス

「新得町を好きになってほしい」
ガンケフェス

代表 友定雄平さん (酪農業)

「新得町をPRできる良い場所がないか」といろいろと探していたら崖(ガンケ)にたどり着いた。湖があって、温泉があって、クワイミングクラブがあって、広場があって。きれいだし、アイヌ神話もあって、めちゃくちゃおもしろいじゃないかと思ってここで何かをやろうと思ったんだよね」と話すのは、友定さん。友定さんは、同じ牧場で働く鳥本純平さんとは幼なじみで、2人で「新得町はつまらない、かっこよくない、おもしろくない」から、町を盛り上げられるような面白いことをやりたいねと度々話していたことがきっかけで、2010年からTORIXSADA(トリサダ)という名前で、今までの新得にはない音楽イベントやフリーマーケットなどを企画し実施してきている。



固有の景観である屈足湖にそびえるガンケ。そのほとりで開催された「ガンケフェス」は新得町にある食材・自然・文化・アウトドアアクティビティなどを通して、新得町の魅力を発信した。

ガンケフェスについては「固有の景観であるガンケを軸として、音楽やアート、新得町にある食材・自然・文化、ラフティングやカヌーなどのアウトドアアクティビティなどを通して、新得町の美しさや魅力を町民や町外の人に『こんな魅力がある場所なんだ』と思ってもらいたいという思いから企画した」と意図を話す。



ガンケフェスで行われたライブ

「昨年初めてガンケフェスを開催して、大変さがわかっていただけに今年の開催を悩んでいた。でも、いろいろ応援してもらって今年もやってよという声も聞こえたから、今回の実施に踏み切ったんだよね。実際、やってみたら楽しかった。思惑どおり、『新得おもしろい』、『場所もすごい良い』といった声も聞こえた。今回の開催でまたつながりが増えたから、今後もしいろいろと面白いことができたらいいんじゃないか」と話している。続けることに、常に新しいことが見つかるので、このイベントをできる限り継続して、将来は今よりグローバルな視点で町を盛り上げたい。イベントを通して若者のつながりを広げて地域活性化の起爆剤にもしたいですね」と今後の展望を語った。

この取り組みに賛同し協力をした町内のアウトドア事業者「とかちアドベンチャークラブ」代表の野村竜介さんは「地元若者が新得を盛り上げようというイベントをやっているのは、まず驚きだったね」と話す。「僕らの仕事も基本的には新得の良さを発信する仕事。友定くん達の商売抜きで新得の良さを伝えようという思いに賛同したので、やれることはやるつもりでガンケフェスに参加したんだよね。新得を盛り上げようという思いがある人がいることが地域の宝。民間として応援したいし、本人達の熱意が下がっていかないように町がバックアップしてもらえればと思う。時間をかけて、エネルギーをかけて、けっこう大変な思いをして段取りしているのを見ていながら応援したいんだよね」との思いも話してくれた。



とかちアドベンチャークラブ 代表 野村竜介